

竹原管内景況調査

6月の景況DIは、製造業は横ばい、非製造業は好転

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、令和6年6月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

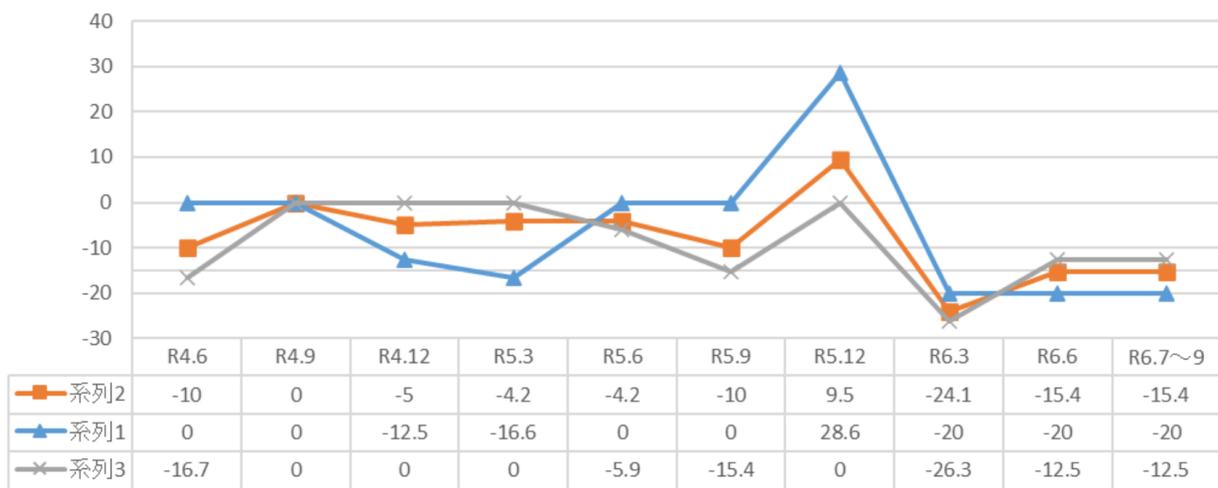
調査概要
【調査時期】
四半期毎に調査(年4回実施)
【調査期間】
令和6年6月
【調査対象】
当所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	13	10
建設	5	3
小売	10	5
サービス	16	8
合計	44	26

●全産業におけるDI値

景況DIの推移



6月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は横ばい、非製造業は13.8ポイント好転しました。6月と比べて7月～9月までの見通しは、全体では、横ばいです。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

- 《製造業》
- ・資材の単価上昇のため、影響が出ている。(日本酒)
 - ・"主力商品が好調に推移。また、新たなシリーズとして展開している大手外食向け商品などの受注も貢献。原材料の高騰やエネルギーコストの上昇などの影響はあったものの、売上が堅調に推移していることもあり収益性については、横ばい。(食品)
- 《非製造業》
- ◇建設業
 - ・新規の受注が増加した。(建築工事)
 - ◇サービス業
 - ・コロナが収束に向かったことで、旅行需要が一気に回復し、訪日外国人を受け入れたことも大きく影響した。また、客単価を高めるためレベニューマネジメントの導入や、稼働率を高めるためのwebマーケティングを活用することで、自社集客を最大化し、単価アップも加速させた。(ホテル)
 - ・同業者の閉店(市内外)6月のPaypayのセールの影響で2023年より一割上昇ですが、原材料高騰で利益が少ない。(クリーニング)

●令和6年度の業界動向の見通しについて

- 《製造業》
- ・原材料価格上昇がコストに影響している。価格転嫁については検討中。(精密機械)
 - ・販売価格への転嫁が進んでいない。(ゴム製造)
 - ・不安定な国際情勢による地政学リスクの影響、輸入コスト、およびエネルギーコストの高止まり等に加え、物流費の更なる高騰が続いており、厳しい環境は継続。2022年の価格改定、および生産性向上などの自助努力を進め、収益性は維持。(食品)
- 《非製造業》
- ◇建設業
 - ・工事原価の影響があり、価格への転嫁は遅れている。(建築工事)
 - ◇小売業
 - ・木材、肥料の価格が上昇。(ホームセンター)
 - ・仕入れが、各業者から2回づつぐらい、10~20%上昇している。(写真館)
 - ・度重なる仕入れ価格の上昇に、販売価格への転嫁が追い付いていない状況である。(精肉)
 - ◇サービス業
 - ・コスト上昇分を吸収できる部門とそうでない部門とで分かれた。原材料の高騰で、飲食部門では価格の値上げを実施した。(ホテル)

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)